

<第84回 ほほえみの会>

新しい方や奈良先生をはじめ9人が参加しました。

- ▽ 2歳の男の子。神経芽腫。6回に及ぶ抗ガン剤治療と手術を経てこれから放射線治療、移植の予定。最近白血球の上がりが悪く心配。本人も点滴で自由がきかずストレスがたまっている。が、A2病棟からB1に移り保母さんがいてくれるので楽しそうな表情も。毎日、修善寺から通う。朝8時にでて家に帰るのが夜の10時か11時で大変。
- ▽ 15歳男子。急性リンパ性白血病で6日前に入院。元気いっぱいの子だったが微熱が続き小児科でかぜだと言われた。かぜ薬を飲んでいたが血液検査で病気が分かる。本人には父親から告知をしたが、正月には家に帰れると言っている。昔は不治の病だったが最近は治る病気であり明るく前向きに考えたい。

<第6回 小児がん親の会連絡会>

5月18日に全国20の病院の親の会が東京の慈恵会医大に集まりました。会では慈恵会医大の星順隆先生が「医師を育てる親の会」というテーマでお話をしてくださいました。

- ・ 今、若い医師の教育が暗礁に乗り上げている。まず医者になるのに目的がない。偏差値が良いだけ。研修医になっても楽なところを選ぶ。一番集まらないのが血液内科。研修で血液科に来るとその大変さから疲弊してしまう。さらに子育ても同じだが怒るのか、おだてるのか難しい。
- ・ 今、情報はインターネットでも入手でき親の方が早いケースもある。医師にとって刺激でもある。
- ・ 医者は世間から隔離されており非常識人間が多い。医師免許があればどこでも生きていけるという思いがある。

- ・ こうした状況の中で、親はどんどん医者に要求を出したらいい。正直医者にとればうるさい親はいやだが言われてミスに気付くこともある。うるさい親が勝ち。たまにほめてくれるともっと良い。
- ・ 慈恵医大では1時間に5～6人の患者を診るように言われているが、これで良いのか。じっくりと話ができるような新しい試みを始めている。

親の会報告

- ・ 新会員が増えず会が行き詰まりとなっている（栃木獨協医科大学病院、名古屋医科大学病院、福島医科大学病院ほか）
- ・ 先生・婦長とうまくいかない（国立国際医療センター、九州大学病院、全国網膜芽細胞腫親の会ほか）
- ・ 役員交代が出来ない（東邦医科大学病院ほか）

病院見学

- ・ 新館が完成、小児科病棟は可愛く明るい雰囲気。外来も今までの病院のイメージを一新する作り。
- ・ 最上階2 1階は目の前の東京タワーなど東京の景色が一望できる
全て個室、最高の部屋は120㎡で1泊30万円(秘書室、SP室付き)

▽ 今年の総会は**7月14日（日）**に開催します。

当日は「キワニス・ドール」（オーストラリアで成功を収めた人形で自由に色づけでき治療や手術について説明をするのに役立つ）と「グレーテルのおしゃれ帽子」を希望者に無料で配布します。

<p>次回は 7月14日(日) 11時からです</p>

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560
 E-mail アドレスが変わりました k1ikededa@mx1.s-cnet.ne.jp
 ホームページ再開しました homepage3.nifty.com/hohoemi/